

村山談話、事実上投げ捨て

安倍首相が
戦後70年談話

安倍晋三首相は14日、官邸内で記者会見し、戦後70年にあたっての談話を発表しました。

安倍談話では、「侵略」「植民地支配」という言葉は盛り込んだものの、日本の行為としては明示せず、戦後50年の村山富市首相談話が示した立場を事実上、投げ捨てました。安倍首相は自らの言葉としても、「反省」「お詫(わ)び」を表明しませんでした。

△ △ △
安倍談話は、「侵略」について、「事変、侵略、戦争。いかなる武力の威嚇や行使も、国際紛争を解決する手段としては、もう二度と用いてはならない」など一般論として記述。「植民地支配から永遠に訣別し、すべての民族の自決の権利が尊重される世界にしなければならぬ」とするだけで、日本が「国策を誤り」「植民地支配と侵略」を行った事実を認めた村山談話の立場を覆しました。

首相は、記者会見でも、「具体的にどのような行為が侵略にあたるか否かについては歴史家の議論にゆだねるべきだ」と強調

さらに、安倍談話では、暴力と強圧をもって韓国の植民地化をすすめた日露戦争を「植民地支配のもとにあった、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけた」とするなど、乱暴に歴史をねじ曲げる姿勢もあらわになりました。

村山談話が言及した「痛切な反省」「心からのお詫び」についても、安倍談話は歴代内閣の立場を説明する形で、「(わが国は)痛切な反省と心からのお詫びの気持ち」を表明してきた」と記述しただけ。さらに、「あの戦争には何ら関わりのない私たちの子や孫、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」などとする姿勢を見せました。

一方、安倍談話では『積極的平和主義』の旗を高く掲げ、世界の平和と繁栄にこれまで以上に貢献する」と宣言。首相は記者会見で、国会で審議中の戦争法案について「戦争を未然に防ぐためのものだ」などと主張。「日米同盟が完全に機能すること」を世界に発信することによって紛争を未然に防ぐ力はさらに強くなっていく」と述べ、法案を強行する姿勢を示しました。

2015年8月15日(土)

国会無視の暴走だ 戦争法案自衛隊内部文書 小池質問に反響

防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」を取り上げた日本共産党の小池晃議員の参院安保法制特別委員会での質問(11日)が反響を広げています。

第17回
奈良赤旗まつり
日 11月7日(土)
時 午前10時時～
会場 奈良10年会館
大ホールと時の広場
主催 共産党奈良県委員会

インターネットの短文投稿サイト(ツイッター)上には、「こんなのは法治国家ではない」などの投稿が相次ぎ、新聞、テレビなどのメディアも「自衛隊内部資料めぐり紛糾」「朝日」12日付、「防衛省、安保法案を先取り」「中日」12日付)など小池質問をいっせいに取り上げました。

質問で小池氏は、戦争法案の「8月中旬の成立・来年2月施行」を前提に、自衛隊内で部隊編成などの法案の実施計画が立てられていた内部文書を暴露。政府も「同じ表題の資料は存在する」(中谷元・防衛相)と認めました。国会で戦争法案が審議中にもかかわらず、自衛隊内部で法案成立を前提にした克明な検討がされていたことを意味し、国会無視、国民を欺くものです。

テレビ朝日系「報道ステーション」(11日放送)では、キャスターの古舘伊知郎氏が「このところ、順序が逆だろうというところがものすごく多い」「まず国会が最優先という原点上立つべきだ」と苦言を呈し、コメンテーターの立野純二・朝日新聞論説副主幹は、「この法案は、国会で論議が進めば進むほど問題点が噴出している」と指摘しました。

「日刊スポーツ」(12日付)は、小池氏の追及について「法案成立を目指す安倍政権には想定外の『小池爆弾』となった」と報じています。

はたして、安倍晋三首相、中谷防衛相は、この自衛隊の暴走を知っていたのか、知らなかったのか。どちらにしても、その責任が問われる大問題です。

2015年8月13日(木)

2015, 08, 18 NO. 723
日本共産党
磯城郡議員団だより
芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵281-1 0744-33-8570
池田 としお Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風440-5 0745-43-2661



(写真) 資料を示し記者会見する小池晃副委員長(右)と井上哲士参議院議員=11日国会内

日本共産党発行
赤旗
日刊 月3497円
日曜版 月823円

ももたろう号の 稼働状況

六月議会でももたろう号の改善を求めました。その結果は、「三時間前に予約しないと利用できません」と素っ気ないものだったことは六月にお知らせした通りです。その後、「予約の電話をしたら『その時間はいっぱいです』と三回以上断られた」という訴えをいただきましたので、六月の稼働状況を調べました。結果は、意外と空いている。六月の稼働日数は、二十二日間。その中で、九時台で二人以下の利用しかなかったのは六日、二号車を加えると十五日もありました。まだまだ利用可能です。十時台では十八日です。筒いっぱいなのはわずか四日だけでした。午後の利用状況は、百十時間の内、三人以上利用したのはわずか二十四時間だけでした。後の約八割はまだまだ利用可能です。乗車申込を断った件数は「0件」となっていました。実際は、断った件数を把握していかないということではないです。もっと利用しやすい「ももたろう号」にする可能性は大です。利用の実態から検討を始めることと。公共交通として育てることで、町の姿勢次第です。

田原本町議会議員
吉田容工



輝け！日本国憲法

今週は、終戦の日を前にして、戦争にまつわる様々な番組が放送され、注目の「戦後七十年談話」も発表されました。世論の力で、談話の四つのキーワードが問題になりました。言葉だけは全部使われましたが、ただ、それだけでしたね。あれでは、「責任の所在を明らかにしお詫びと反省を」歴代政権が述べて来た。第三者的に言うだけの事。過去を見つめ決して犯した罪を忘れず目をそらさずに過ちは繰り返さない事を、堅く後世に受け継いで行く必要性を放棄して、「もうそんな事はせんでもええよ」と、宣言したようなもんですもんね。有る意味、傑作です。

川西町議会議員
芝和也



8月15日

8月15日は日本が太平洋戦争を「終戦」して70年目を迎えます。14日、安倍首相が戦後70年談話を発表しました。中身を見てみると「侵略」「植民地支配」「反省」「お詫び」の言葉は挿入されています。文章として言葉を羅列しただけとは思えません。8月15日をどの様にとらえるのかによってその人の考え方が違ってきます。「終戦」ととらえるのか、「敗戦」ととらえるのかによって大きく物事が変わってきます。ドイツでは第2次世界大戦に「敗戦」ととらえ再出発がスタートしています。安倍首相もこのことをどの様にとらえているのか、聞いてみたいものです。今、参議院で「戦争法案」が審議されていますが、自衛隊幹部が作成した「ガイドライン及び平和安全法制関連法案を受けた今後の方向性」というのが取り上げられ、委員会が空転しました。今週から審議が再開されますが、政府はどのように決着をつけるのでしょうか。

この「戦争法案」について反対のデモや集会などが全国で開かれています。15日、中南海域としてJR大和高田駅東側で150人の集会が行われ参加してきました。

三宅町議会議員
池田年夫



デモに参加して

終戦記念日の十五日、午後6時半からJR高田駅東広場で「非戦と戦争法案阻止の集い」があると知り、参加してみました。集会では、戦争体験者、元日本軍士官候補生などが体験や今、安倍内閣が押し進めている戦争法案の廃案を求めるメッセージなどを語られました。「赤旗」には高校生が「アメリカと肩をなすべたい」という欲望のため、私たちが若者がなぜ血を流さないとならないのでしょか。また、「『デモなんかしてないで勉強しろ』とか、『ただ騒ぎたいだけだろ』とかよくいわれます。でも、今私たちは将来『あの時や

んと抗議をしていけばよかった』って、きつと、いや絶対後悔すると思います。

私も本当に後悔したくないから、大声でシュプレヒコールをしながら百五十人程のデモに参加しました。大きな太鼓の音に合わせて「戦争法案、反対！」「憲法、守れ！」「へりくつ言うな！」「力の強い言葉。その中に子どもを守れ！」の後に「俺を守れ」とボソッとささやく声が聞こえたり、手足を動かして踊り出す人もいて中々楽しいデモでした。

22日午後三時から奈良公園で集会とパレードの予定。一緒に参加しますか？

田原本町議会議員
森良子

